



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月9日

上場会社名 タピオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 谷川 繁
 四半期報告書提出予定日 2021年7月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	3,134	98.7	36		25		30	
2021年2月期第1四半期	1,577	61.9	682		677		1,003	

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 31百万円 (%) 2021年2月期第1四半期 1,006百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	4.49	
2021年2月期第1四半期	147.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	7,470	3,744	50.1
2021年2月期	7,609	3,912	51.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 3,744百万円 2021年2月期 3,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		20.00	20.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,969	30.1	204		218		131		19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	6,813,880 株	2021年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	15,378 株	2021年2月期	15,378 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	6,798,502 株	2021年2月期1Q	6,792,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ¹⁾(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年5月31日）における国内経済におきましては、緊急事態宣言の再発出等による商業施設等の休業・時短営業や外出自粛が影響し、消費者の購買意欲は勢いを欠いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、外出自粛やテレワークの浸透で、自宅での生活時間が以前より増加したこと等により、衣料品販売におけるECの存在感が増し、商品特性が明確な機能性商品等の需要が高まっております。こうした消費者の需要に対応するためには、ECサイトの継続的な利便性向上とSNSを駆使した商品訴求を行うと共に、様々な着用シーンを想定した提案を行っていくことが必要不可欠になっております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

また、スピード重視の社内体制を実現すべく、前期より事業部制を採用すると共に、オンラインとオフラインの融合強化を進めたOMO（Online Merges with Offline）体制の構築を行い、各ブランドの特徴を明確に打ち出すことにより、全てのお客様に選んで頂ける「世界一の靴下総合企業」を目指しております。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、ツイッター等のSNSやYouTube上での動画コンテンツ配信による商品訴求に加え、コラボレーション商品の企画・販売を継続的に行うことによって、既存顧客へのアプローチを促進すると共に、新しい顧客獲得に向けて取り組んで参りました。

「ショセット関連部門」における「ショセット事業」では、よりハイセンスな立地での『Tabio』店舗の出店に加え、働く女性に向けた高品質で機能性の高い商品、環境に配慮した商品等の企画・提案を行うことによって、ハイセンスで付加価値の高いブランドイメージの構築に努めて参りました。さらに、YouTubeへの動画投稿やインフルエンサーによる新店舗の紹介等、時代に即した販促活動にも取り組んで参りました。また、「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店の『Tabio MEN』を中心に、ファッションにこだわりを持った男性のブランド認知度を向上させ、「メンズソックス」を当グループの新たな柱となる商品にすべく、メンズ・レディース併売店の開発に向けた取り組みやEC販売強化等を行って参りました。

「海外関連部門」では、イギリス支店において、イギリス国内向けECサイトの利便性向上を目的とした改修や、SNSを用いた販促活動を継続的にを行い、フランスの販売子会社Tabio France S.A.S.では、フランス国内向けECサイトを多言語対応させ、ヨーロッパ諸国等への展開を可能にすることによってEC事業の更なる強化に取り組んで参りました。また、北米向けのEC事業では、引き続きSNSを用いた販促活動を行い、ブランド認知度向上に向けて取り組んで参りました。代理商を通じて展開を強化しております中国事業については、一級都市を中心に出店を推し進めております。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店2店舗、直営店2店舗の新規出店と、直営店8店舗の退店により、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店98店舗（海外代理商による店舗10店舗を含む）、直営店171店舗（海外4店舗を含む）、合計269店舗となりました。

また、2021年4月25日に再発出された緊急事態宣言により、4月下旬から5月上旬の間、東京都・大阪府・京都府・兵庫県で70店舗余りが休業となり、宣言の延長や対象地域が追加された2021年5月12日以降は、大阪府や一部の東京都の店舗での休業が継続され、その他宣言対象地域等では、土日休業や時短営業を行って参りました。なお、EC売上については引き続き堅調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,134百万円（前年同期比98.7%増）、営業損失は36百万円（前年同四半期は営業損失682百万円）、経常損失は25百万円（前年同四半期は経常損失677百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,003百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期（3月～5月）は、第2四半期（6月～8月）と比較して売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、商品116百万円、売掛金98百万円増加しましたが、現金及び預金332百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて139百万円減少し、7,470百万円となりました。

負債については、電子記録債務142百万円、賞与引当金65百万円、長期借入金54百万円減少しましたが、流動負債のその他197百万円、買掛金96百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて27百万円増加し、3,725百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて167百万円減少し、3,744百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.4%から50.1%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期における通期の連結業績予想については、2021年4月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,514,128	2,181,768
売掛金	603,314	701,644
商品	640,662	757,569
貯蔵品	482	455
その他	312,456	292,331
貸倒引当金	△449	△899
流動資産合計	4,070,595	3,932,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	603,814	604,492
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	200,253	250,456
有形固定資産合計	1,986,722	2,037,603
無形固定資産		
投資その他の資産	329,370	313,303
投資その他の資産		
差入保証金	1,180,516	1,143,965
その他	45,585	45,502
貸倒引当金	△2,807	△2,807
投資その他の資産合計	1,223,294	1,186,661
固定資産合計	3,539,387	3,537,568
資産合計	7,609,983	7,470,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,202	490,001
電子記録債務	565,017	422,411
短期借入金	12,699	12,976
1年内返済予定の長期借入金	220,851	219,244
未払法人税等	-	35
賞与引当金	86,702	21,328
ポイント引当金	42,933	56,668
資産除去債務	15,972	3,641
その他	636,507	834,255
流動負債合計	1,973,884	2,060,562
固定負債		
長期借入金	769,537	714,726
退職給付に係る負債	337,330	343,287
資産除去債務	293,174	289,722
その他	323,995	317,188
固定負債合計	1,724,038	1,664,924
負債合計	3,697,923	3,725,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	3,440,149	3,273,640
自己株式	△15,590	△15,590
株主資本合計	3,931,772	3,765,263
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,665	△6,624
退職給付に係る調整累計額	△14,048	△13,687
その他の包括利益累計額合計	△19,713	△20,311
純資産合計	3,912,059	3,744,952
負債純資産合計	7,609,983	7,470,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	1,577,671	3,134,576
売上原価	674,538	1,337,938
売上総利益	903,132	1,796,638
販売費及び一般管理費	1,585,968	1,833,518
営業損失(△)	△682,835	△36,880
営業外収益		
受取利息	6	0
仕入割引	1,828	2,206
為替差益	731	2,284
助成金収入	2,800	7,159
その他	1,014	1,280
営業外収益合計	6,380	12,931
営業外費用		
支払利息	1,025	1,196
その他	155	410
営業外費用合計	1,180	1,606
経常損失(△)	△677,635	△25,556
特別損失		
固定資産除却損	824	-
賃貸借契約解約損	-	4,744
減損損失	115,993	-
特別損失合計	116,818	4,744
税金等調整前四半期純損失(△)	△794,454	△30,300
法人税、住民税及び事業税	4,424	4,482
法人税等還付税額	-	△4,243
法人税等調整額	204,597	-
法人税等合計	209,021	238
四半期純損失(△)	△1,003,476	△30,539
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,003,476	△30,539

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△1,003,476	△30,539
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,227	△959
退職給付に係る調整額	-	360
その他の包括利益合計	△3,227	△598
四半期包括利益	△1,006,703	△31,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,006,703	△31,137
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。